

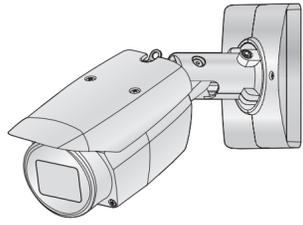
i-PRO

取扱説明書 設置編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番 WV-S1510UX



WV-S1510UX



本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用前に」の「安全上のご注意」(13～15ページ)を必ずお読みください。**
- 説明に旧機種WV-S1531LTNJ、WV-S1531LNJ、WV-S1511LNJ、WV-S1510、WV-Q120Aを使います。
- 本書では、品番の一部を省略している場合があります。

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

Ns0217-4112 PGQX2091VA Printed in China

故障かな!?

修理を依頼される前に、取扱説明書 基本編 (CD-ROM 内)、取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM 内) の「故障かな!?’で症状を確かめてください。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは	●製品名 ネットワークカメラ
「故障かな!?’(付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●品番 WV-S1510UX
	●故障の状況 できるだけ具体的に

i-PRO製品の「お問い合わせ」および「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal



アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でのお使いの場合に限ります。日本以外でのお使いの場合のサービスはいたしかねます。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

- S1531** : WV-S1531LTNJ、WV-S1531LNJで使用可能な機能
- S1511** : WV-S1511LNJで使用可能な機能
- S1510** : WV-S1510で使用可能な機能

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編 (本書)** : 設置手順、取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。本書はWV-S1510UXを例として説明しています。
- 取扱説明書 基本編 (CD-ROM内)** : 本機に関する基本的な内容を記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内)** : 本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。

PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編 (本書) 1式 CD-ROM *1 1枚
ご使用前に 1冊 コードラベル *2 1枚

- *1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
- *2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

以下の部品は取付工事に使用します。

カメラ取付台カバー.....2個	4Pアラームケーブル S1531 S1511 .. 1本
カメラ取付台カバー固定ねじ.....3本	2P電源ケーブル S1531 S1511 1本
(M3×6 mm、1本は予備)	落下防止ワイヤー.....1本
防水テープ S1531 S1511 1個	ワイヤー取付金具固定ねじ.....2本
RJ45防水コネクタカバー.....1個	(M3×10 mm スプリングワッシャー付き、1本は予備)
RJ45防水コネクタキャップ.....1個	ワイヤー取付金具.....1個
	補助ハンドル S1511 S1510 1個



設置の前に

付属品以外に必要なもの

本機を取り付ける前にカメラアーム部に付いている青い保護テープを外してください。それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

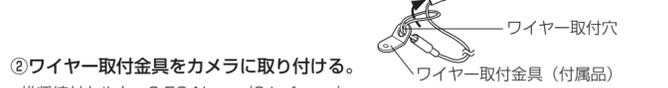
取付方法	推奨ねじ	取付方法の説明
カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合 (天井裏、壁裏面で接続のスペースがある場合)	M5/4本	【タイプ1】
スイッチボックスなどに取り付ける場合 ※必ず金属製のスイッチボックスをご使用ください。	M4/4本*	【タイプ2】
WV-Q120A (カメラ取付金具 : 約510 g 別売り) を使って天井または壁面に取り付ける場合 (天井裏、壁裏面で接続のスペースが無い場合)	M5/4本*	【タイプ3】

- ※1 本機を天井または壁面に取り付けるときは、必ず落下防止ワイヤー (付属品) を取り付ける必要があります。落下防止ワイヤー固定用にM6のボルトナットまたはアンカーボルト (最低引抜強度724 N {74 kgf}) を準備してください。
- ※2 外径φ7.5~φ10 mmの平ワッシャー付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじをご用意ください。
- ※3 本機をWV-Q120Aに固定するねじ 4本 (M5) はWV-Q120Aに付属されています。取り付け方法は、WV-Q120Aの取扱説明書も参照してください。

- 重要**
- 取付ねじ (もしくはアンカーボルト) の最低引抜強度は1本あたり724 N {74 kgf} を確保してください。
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に設置する場合は、十分な補強を施してください。

カメラの準備をする

- 【1】落下防止ワイヤーを取り付ける。
①落下防止ワイヤー (付属品) をワイヤー取付金具 (付属品) のワイヤー取付穴に取り付ける。

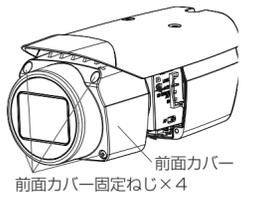


- ②ワイヤー取付金具をカメラに取り付ける。
推奨締付トルク : 0.59 N・m {6 kgf・cm}



- 【2】前面カバーを取り外す。
前面カバー固定ねじ4か所を緩め、前面カバーを取り外す。

- 重要**
- カメラを設置・調整する際は前面カバーを一旦取り外すので、水滴などがかからないようにしてください。



設置する

設置工事を 5 ステップで説明します。

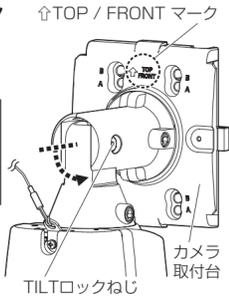


●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

Step1 天井または壁面を加工する ※カメラの固定方法は3通りあります

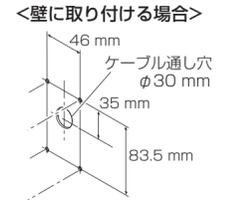
【共通】TILTロックねじを対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って1回転ほど緩め、カメラを下に向けたあとに仮締めする。

- 重要**
- カメラの取付高さ (取り付け後カメラの一番低い部分) が床面から2 m 80 cmより高い位置になるように取り付けてください。



【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

カメラを天井または壁面に取り付ける位置を決め、右図に示すような固定用と配線接続用の穴をあける。
※穴径および深さは固定用のねじまたはアンカー (4本 (M5 : 別途調達)) の仕様に合わせて決めてください。



メモ

- 壁面に取り付ける場合、ケーブル通し穴が上側になるように穴をあけてください。
- 天井に取り付ける場合、ケーブル通し穴がカメラを向ける方向になるように穴をあけてください。
- カメラの側面ケーブル通し穴 (Step3 カメラを取り付ける【Type1】②の挿絵参照) を使って配線する場合は、右図中の「ケーブル通し穴」は不要です。

【タイプ2】スイッチボックスなどに取り付ける場合

天井または壁面を加工する作業はありません。

メモ

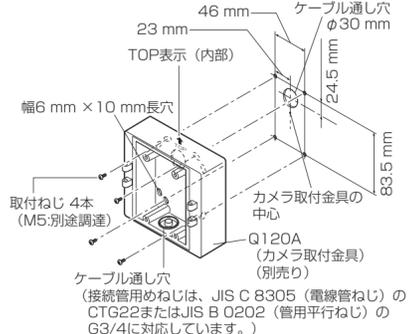
- スイッチボックスなどを使用する場合、2つ並べて使用することをお勧めします。(片側にカメラを固定し、空きボックス側へ配線すればケーブルの接続が容易になります。)

【タイプ3】WV-Q120A (カメラ取付金具) (別売り) を使って天井または壁面に取り付ける場合 (WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。)

※壁面に取り付ける場合を例に説明します。

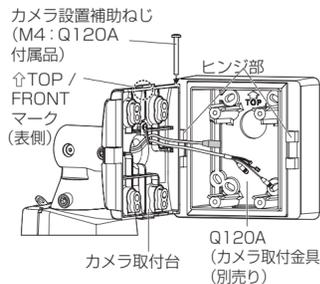
- ①カメラ取付金具を壁面に固定する。

- 右図に示すような寸法のねじおよび配線用穴をあける。(ケーブル通し穴を使って側面より接続する場合は、ねじ穴のみをあけてください)
- カメラ取付金具内部の刻印「TOP」表示を上側に向けてください。
- ねじ4本 (M5 : 別途調達) で、カメラ取付金具を直接壁に固定します。最低引抜強度 : 724 N {74 kgf} / 1本あたり
- 屋外に設置するときは、ケーブル通し穴とねじ穴を防水処理してください。



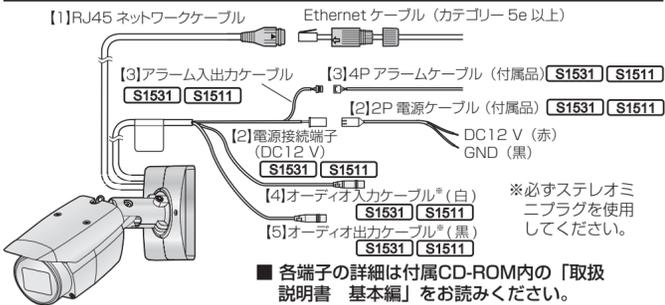
- ②カメラ取付金具にカメラ取付台とカメラを仮固定する。

- カメラ設置補助ねじ (M4 : Q120A 付属品) を使って、カメラ取付金具の左右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を仮取り付けし、開閉できるようにします。
- カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように固定してください。
- 左右どちらか近くに壁がある場合は、壁の反対側のヒンジ部に取り付けてください。
- カメラ取付台はカメラ取付金具のヒンジ部へ次の締付トルクで固定してください。



推奨締付トルク : 0.78 N・m {8 kgf・cm}

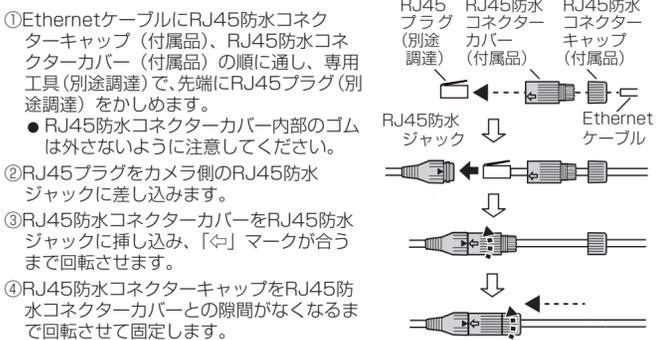
Step2 ケーブルを接続する



- 重要**
- 設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源 (PoEハブやカメラに給電する装置の電源など) を切断しておいてください。
 - DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。 [S1531] [S1511]

[1] RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

- 重要**
- RJ45防水コネクタ (付属品) 部分を手順に従って正しく組み立てていない場合は十分な防水機能が発揮できません。また、RJ45防水コネクタ部分を雨や水が常にかかる場所に設置しないでください。
 - Ethernetケーブルの最大長は100 mまでで、外形はφ5 mm～φ6.5 mmです。



Step3 カメラを固定する ※カメラの固定方法は3通りあります

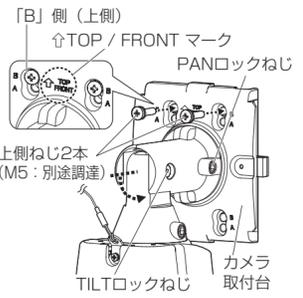
【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

①上側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

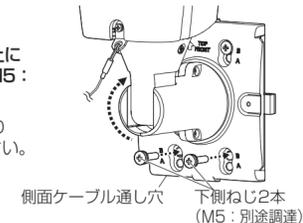
メモ

- 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。
- 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台の側面ケーブル通し穴 (手順②の挿絵参照) から配線を引き出してください。



②PANロックねじを1回転ほど緩めカメラを上に向けたあとに仮締めし、下側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

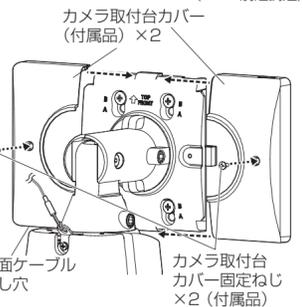


③カメラを下に向け、カメラ取付台カバーをカメラ取付台カバー固定ねじ 2本 (M3×6 mm、付属品) でカメラ取付台に固定する。

推奨締付トルク : 0.59 N · m {6 kgf · cm}

メモ

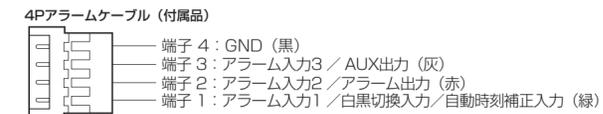
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台カバーの側面ケーブル通し穴をニッパー等で切り取ってケーブルを通してください。



[2] ACアダプターまたは外部電源を接続する場合は2P電源ケーブル (付属品) を使用してカメラに接続する。 [S1531] [S1511]

2P電源ケーブル (付属品) にDC12 V出力のACアダプター (WV-PS16(別売り)、あるいは市販品) の出力ケーブルを接続します (赤 : DC12 V側、黒 : GND側)。

[3] 必要な場合は4Pアラームケーブルを接続する。 [S1531] [S1511]



メモ

- お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

[4] 必要な場合はオーディオ入力ケーブルとマイクまたは外部音声ラインを接続する。 [S1531] [S1511]

[5] 必要な場合はオーディオ出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する。 [S1531] [S1511]

メモ

- オーディオ出力はモニター出力へ切り換え可能です。切り換え方法については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

[6] 露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をする。 [S1531] [S1511]

本体側は防水ですが、ケーブル端、WV-Q120A (カメラ取付金具) 内部は防水対応ではありません。各ケーブルの接続部は以下のようにして防水処理をしてください。

<Ethernetケーブル以外のケーブルの防水処理方法>

防水テープ (付属品) を使用し、右のようにして防水処理をしてください。

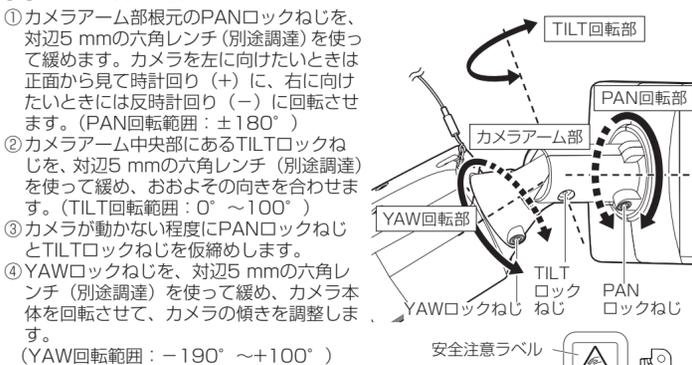


重要

- テープを約2倍の長さ引き延ばし (右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。

Step4 調整する

- カメラ本体の向きを下向きからカメラが正面に見える向きに変更して仮固定する。
- カメラ本体のMONITOR OUT端子にピンケーブル (別途調達) を取り付け、調整用モニターを接続する。
※イラストはWV-S1511LNJです。
- 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。 [S1531] [S1511]
●SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。
- カメラの電源を入れる。
- カメラの向きを調整する。



重要

- TILT角度を変更する際は、指が挟まれるのを防止するため、安全注意ラベル周辺のTILT回転部を触らないようにしてください。
- PAN回転部は±180°以上回さないでください。内部ケーブルがよじれるおそれがあります。

メモ

- PANロックねじ、TILTロックねじ、YAWロックねじは約1回転緩めれば、調節可能です。必要以上に緩めないでください。
- 各ロックねじを緩めカメラの向きを調整する場合は、カメラ本体を手で保持した状態で行ってください。

[6] ズームとフォーカスを調整する。

[S1531]

①右図を参照し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角(視野角)に動かします。

[S1511] [S1510]

①左図のようにズームカバーを開けて、ズームツマミに補助ハンドル (付属品) を差し込み左に回してゆるめ、TELEとWIDE間で移動し、適切な画角を得ます。その後、ズームツマミを右に回して締め、ズームツマミをロックします。補充ハンドルを外しズームカバーを閉じます。

②オートフォーカス (AF) ボタンを押してフォーカスを合わせます。

[7] 各部のロックねじを締めて固定する。

※WV-S1531LTNJは裏側にもPANロックねじがあるので表側と同じように締めてください。

推奨締付トルク
PANロックねじ : 2.7 N · m {27.5 kgf · cm}
TILTロックねじ : 9.0 N · m {91.8 kgf · cm}
YAWロックねじ : 2.7 N · m {27.5 kgf · cm}

[8] ピンケーブルを取り外す。

[9] 前面カバー部分をカメラに取り付け、前面カバー固定ねじ4か所を締め、固定する。

推奨締付トルク : 0.59 N · m {6 kgf · cm}
※前面カバー固定ねじは右図のように対角線で締めてください。

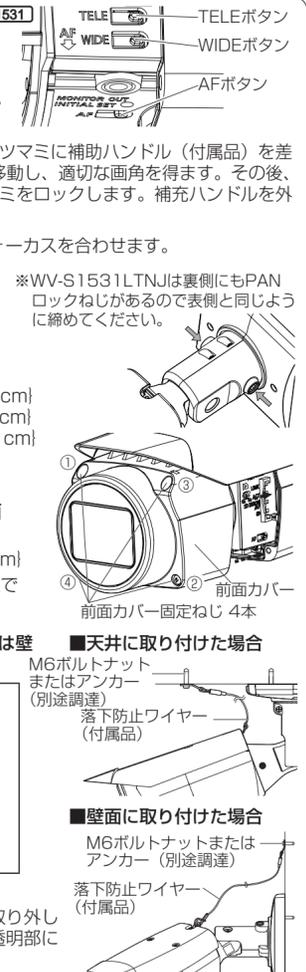
[10] 落下防止ワイヤー (付属品) を天井または壁面に固定する。

重要

- 落下防止ワイヤー (付属品) 固定用M6ボルトナットまたはアンカー (別途調達) の最低引抜強度は724 N {74 kgf} を確保してください。
- 落下防止ワイヤー (付属品) は建築物の基礎部分または十分に強度がある部分に固定してください。

[11] 保護シートを取り外す。

設置完了後、前面カバー表面の保護シートを取り外してください。取り外したあとは前面カバーの透明部に触れないでください。



Step5 ネットワークに接続する

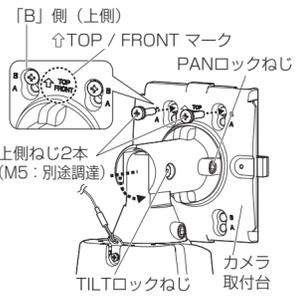
【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

①上側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

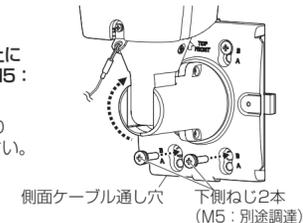
メモ

- 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。
- 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台の側面ケーブル通し穴 (手順②の挿絵参照) から配線を引き出してください。



②PANロックねじを1回転ほど緩めカメラを上に向けたあとに仮締めし、下側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

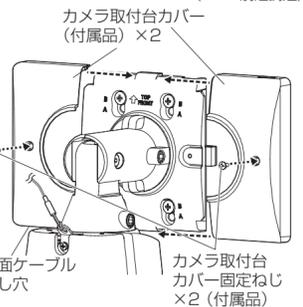


③カメラを下に向け、カメラ取付台カバーをカメラ取付台カバー固定ねじ 2本 (M3×6 mm、付属品) でカメラ取付台に固定する。

推奨締付トルク : 0.59 N · m {6 kgf · cm}

メモ

- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台カバーの側面ケーブル通し穴をニッパー等で切り取ってケーブルを通してください。

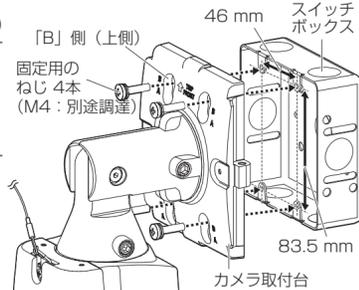


【タイプ2】スイッチボックスなどに取り付ける場合

カメラ取付台の「B」側の穴を使って右図のように固定用のねじ 4本 (外径φ7.5～φ10 mmの平ワッシャー付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじ : 別途調達) でスイッチボックスなどに取り付ける。
(最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本)

メモ

- 固定用のねじでの取り付け手順、カメラ取付台カバーの取り付け手順は【タイプ1】の手順①②③と同じです。



【タイプ3】WV-Q120A(カメラ取付金具) (別売り) を使って天井または壁面に取り付ける場合 (WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。)

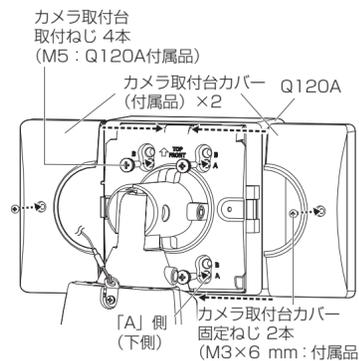
※壁面に取り付ける場合を例に説明します。

①取付ねじ 4本 (M5 : Q120A付属品) でカメラ取付台の「A」側の穴を使い上側2本→下側2本の順にカメラ取付台をカメラ取付金具に固定する。

推奨締付トルク : 1.86 N · m {19 kgf · cm}
※取り付け手順は【タイプ1】の手順①②を参照ください。

②カメラを下に向け、カメラ取付台カバーをカメラ取付台カバー固定ねじ 2本 (M3×6 mm : 付属品) でカメラ取付台に固定する。

推奨締付トルク : 0.59 N · m {6 kgf · cm}



Step5 ネットワークに接続する

弊社技術情報ウェブサイト (https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information) の「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号 : C0123>または「i-PRO設定ツール (iCT)」<管理番号 : C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。